

教育長に菅野 茂氏 就任 助 役に長正増夫氏

11月25日の第10回臨時議会において、長正増夫氏（前村教育委員会教育次長）を助役に、菅野茂氏（前総務課長）と佐藤眞弘氏（二枚橋・須萱）を教育委員に任命する人事案件が提出され、いずれも賛成多数で可決されました。

また、12月2日に教育委員会臨時会が開かれ、菅野茂氏が教育長に互選されました。助役の任期は、12月1日からの4年間。教育委員は12月2日からの4年間です。

子や孫に 誇れる村を

助 役
長 正 増 夫



去る11月25日の臨時村議会においてご同意をいただき、12月1日付けで助役を拝命いたしました。村長の補佐役として村民福祉の向上のため、粉骨碎身努力する覚悟です。さて、先の「ふくしま駅伝」において、飯館村チームが村の部2連覇、総合でも10位という輝かしい成績を収めました。正直なところ、今年は中学生と高校生が主体のメンバーでしたの

で、村の部優勝はおろか総合順位も20位以内に入れば上出来と思っていました。いざスタートしてみると、特に中高生の子どもの粘り強い走りに驚きました。村づくりは「駅伝競走」に通ずるものがあると考えております。飯館村はご案内のように、冷害に見舞われる山間高冷地の立地条件にありますが、太古の昔からこの地に人は住み、私たち

の先人はあらゆる悪条件や困難を克服し、今日の生活基盤を築いてこられました。これをさらによい村として子や孫たちに引き継ぐことが、現在の私たちの責務であると考えております。もとより微力ではありますが、ふくしま駅伝の子どもの走りにも恥じないように、全力で職務に取り組みたいと考えております。村民の皆様の一層のご指導・ご鞭撻をお願い致します。

教育の原点は 家庭にあり

教育長
菅 野 茂



この1年は本村にとってまさに歴史的な年であったと思います。そんな中、この度、議会及び教育委員会の皆様方から「同意を頂き飯館村教育長として務めさせていただくことになりました。元より浅学非才の身であり、その器でないことは充分承知しておりますが、お引き受けをした以上は全力を傾けて、その任にあたつて参りたいと考えております。さて、先月、茨城県内で両親

を、また両親と姉を殺害するといふ本当に痛ましい事件が相次いで発生しました。事の詳細は分かりませんが、どちらも「教育に熱心な家庭」で起きた事件であり、また、その原因は「家庭に自分の居場所がなかったから」との報道であります。心が安らぐ場所であるべき家庭が子どもを苦しめているのかと思つと心が痛ますにはおられません。今、教育界は色々な問題を抱えていると聞いておりますが、私は教育の原点は家庭にあると

思っております。「おはよう」、「ありがと」、「ごめんなさい」…等の基本的な生活習慣を先ず家庭においてきちんと教えていくこと。そして、学校と家庭の役割分担と連携をしっかりとやっていく事が、これからの教育には欠かせないと思っております。『学校が楽しい』、家庭が「地域が明るい」、そんな飯館村の実現のため教育活動を取り組んでいきたいと考えておりますので、皆さんのご支援、ご協力を心からお願い致します。

退任にあたって



平成12年12月1日からの4年間、飯館村民として、また教育長として有意義に楽しく過ごさせていただきました。

恵まれた自然環境の中で伸び伸びと育つ子どもたち。その子どもたちを温かく見守り育ててくれる地域の方々。飯館村の子どもたちは本当に幸せだと思います。

「いいいて大自然塾」、「海洋アドベンチャースクール」、「親のありがたみがわかる通信学」等々、私にとって生涯の思い出に残る事業でした。合宿通学の最中、親から届いた手紙を読んで泣き出す子どもたち、「ぼく

元教育長 神長 敬治

は感動したよ、教育長さん」と、私に話しかけてきた子どもたち、みんないい子に育っているんだと感じさせられました。今後は、子どもたちを含め村民みんなが選んだ自立の道を一步一步着実に歩み続けてほしいと思います。飯館村の今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。退任のあいさつといたします。

あぶくま地域づくりシンポジウム

熊谷則子さん(前田・八和木)が事例発表

あぶくまロマンチック街道構想推進協議会(吉田敏八会長・都路村)が主催する「あぶくま地域づくりシンポジウム」が、11月28日に川内村「いわなの郷」にて開催されました。

関係5町村から約120人が参加したシンポジウムでは、同協議会アドバイザーの仁井田博毅氏が「あぶくまの里がめざすもの」と題して講演したほか、関係5町村の代表によるパネルディスカッションも行われ、それぞれの地域や団体で取り組んでいる内容等が発表されました。飯館村からは、同協議会の幹事でもある熊谷則子さんが、行政区内の婦人で組織し活動している「夢見る老止め会」の結成経緯や取組み状況、今後の抱負などについて発表しました。



▲事例発表する熊谷さん

「あぶくまロマンチック街道構想」とは?

国道399号線沿いの5町村(飯館村・浪江町・葛尾村・都路村・川内村)で構成し、この沿線を「あぶくまロマンチック街道」と名付け、環境整備や交流事業等を通じ、沿線地域の活性化を図っていこうとするもので、平成15年度から3カ年事業で取り組んでいます。

南相馬合併協議会から離脱

―第9回臨時議会―

11月15日に開かれた第9回臨時議会において、南相馬合併協議会の構成市町村を、飯館村・小高町・鹿島町・原町市の「4市町村」から飯館村を除く「3市町」とする規約の改正について、採決の結果8・8の可否同数となり横山議長の裁決で可決されました。他の3市町で開かれた臨時議会においても同様の規約改正が可決され、これにより、飯館村が南相馬合併協議会から正式に離脱することになりました。



▲臨時議会の様子